

川口 ARAKAWA フォーラム

●開催日

平成 24 年 5 月 29 日（火）
午後 18 時 30 分から午後 21 時 00 分

●開催場所

川口市役所第 2 庁舎
地下第 1 会議室

●出席者

8 名（全構成員：8 名）

●議題

- 1 議事録確認委員の選出
- 2 情報提供
 - ・ 24 時間テレビ「荒川クリーンエイドアクション 2012」参加者募集（資料 1）
 - ・ 荒川下流域自然モニタリング調査ご案内（資料 2）
 - ・ 2012 年度全国一斉水質調査川口周辺取り組みご案内（資料 3）
 - ・ 水辺の楽校 荒川の自然と遊びの教室日程について
- 3 報告事項
 - ・ 荒川放水路変遷史
 - ・ 第 34 回荒川の将来を考える協議会の報告（資料 4）
- 4 討議事項
 - ・ 地区別計画について（資料 5～6）



・委員の変更について

人事異動による変更

荒川下流河川事務所：波多野所長、4 月より着任。

1. 議事録確認委員の選出

堺委員が選出された。

2. 情報提供

委員より情報提供があった。

- ・24 時間テレビ「荒川クリーンエイドアクション 2012」参加者募集（資料 1）

荒川クリーンエイドは、今年で 4 回目になるが、日テレの 24 時間テレビで紹介されるようになり、日テレと共催という形で実施されることになった。6 月 3 日、場所は江戸川区になるが、こちらで取材、撮影される。関東ブロックで清掃ボランティアを 300 名募集する。自然教室も事後に行う。その日の夕方の番組で紹介される。夏の 24 時間テレビでも放映される。

- ・荒川下流域自然モニタリング調査ご案内（資料 2）

現在、荒川下流域自然モニタリングということで、生態系保護協会の川口支部も一緒に取り組んでいるが、荒川下流河川事務所、自然連絡会に所属する NPO が一緒になって荒川の自然、特に木工沈床を整備した地域を中心に行う。すでに春の野鳥、植物調査は済んでおり、昆虫・低生植物調査を今後川口、戸田で取り組んでいく。下流域、他の区域でも同様に取り組んでいくので、よかったらご一緒いただけたら嬉しい。色々な成果、交流が生まれている。

- ・2012 年度全国一斉水質調査川口周辺取り組みご案内（資料 3）

- ・荒川上流では、荒川上流域ネットワーク、下流では荒川クリーンエイド・フォーラムがとりまとめている。本流では各ポイント、300 ヶ所位で取り組んでいる。
- ・川口市周辺では、（資料 3）の 4 団体の主体が加わっている。今後の調査結果で色々なことが見えてくると思う。

- ・水辺の楽校 荒川の自然と遊びの教室日程について

- ・平成 9 年からゴルフ場の定休日を利用して近隣の小学校と行っている。
- ・今年度の夏休み前までの予定は、資料のとおり。
- ・5 月 25 日は、50 名近くが集って、池の範囲を広げて行った。当日は最後の方に雨が降ってきたが、捕れすぎず、捕れなさすぎず、丁度よかった。
- ・小学校の先生にお任せすると大抵ザリガニ釣りになってしまうので、事前の打合せで、水辺の色々な生物がいることに気付いてもらい、触れあってもらえるようにお伝えした。
- ・②、③（原町小・飯塚小の参加）の説明。
- ・夏休み以降は、舟戸小学校が予定している。日程は未定。
- ・市内の親子を対象にした、「荒川の自然にふれあう会」というもの。浮間ゴルフ場を開放して行っている。毎年海の日に行っていて、希望された方はほぼ全員参加できている状況。ただ今年は、鳩ヶ谷市が合併したので、いつもよりは多くなりそう。参加組数は変えない。ごちゃごちゃした中でやるよりは、ある程度ゆったりした中で行いたい。120 組位までは増やすかもしれないが、それ以上増やすことは考えていない。
- ・先日、十月田小学校からやらせてほしいという話があった。ただ、1・2 年生がバスを連ねてくるというプランで、とにかく、先生からは十月田小の周りは自然が全くないので、ぜひやらせてほしいということだったが、学校側の方で、それは厳しいということで、残念ながら今回は見送りになった。

委 員 : 他の学校への呼びかけは？

委 員 : 特段行っていない。

委 員 : 本町小を出来たら入れてほしい。新校舎になってから、土の無い、殺伐とした学校になってしまっているのです。

市事務局 : 先生が異動されることで広まっていく。教育局の方でも、この活動を紹介していたので、ご存じだとは思いますが近所でないと厳しい。

市事務局 : 最近はお父さんが子供を水辺に連れて行くということをしないので、学校の授業で行くことはよいと思う。

委 員 : ふれあう会は、受入れ側としては、人員など、どういう対応をするのか？

市事務局 : 特に人員については気を払ってはいない。親子で参加されるので。一応注意書きのようなものは渡すが、事故などは起こったことはない。

荒川下流より情報提供があった。

H23 三領水門ゲート設備改修工事他工事の説明

委 員 : 水門の耐震工事は、どの位の耐震なのか？

荒下事務局 : 考えうる最大の震度まで。今後も耐震工事は進めていく。

荒下事務局 : 工事により利用者の方がどういった影響を受けるのかということでは、水門の所の橋が通れなくなるので、裏側の橋を通行していただきたい。また、堤防強化を行っている箇所は、工事期間中は後ろ(川裏)を通行していただきたい。

委 員 : 堤防天端を自転車で通っている人がいるが、通れなくなるということか。

荒下事務局 : そうです。一時的に通れなくなる。工事期間中だけは、堤防の裏をまわっていただきたい。広場に降りる場合どうするのかは、工事担当者とも調整させてもらいたい。

委 員 : これは堤防の強化だけか？レクリエーション広場へ車で出入りする時、2、3回切りかえさないとならないので、危険を感じている。

荒下事務局 : 防災上の理由でなく、使い勝手のために天端を広げるのは難しいと思うが、今日出た話は全て工事の担当者に意見として伝えるようにする。

3. 報告事項

荒川下流より報告があった。

荒川の将来を考える協議会の決定事項の説明

1. 江東区長より江東区における荒川とまちづくりの取り組みについて説明があった。
河川関連では舟運に力を入れている印象を受けた。

2. 報告事項

①地区別計画の策定、進捗状況報告

江東区と足立区の地区別計画が承認・策定となった。

②自転車と歩行者の接触事故防止のための試行について

自転車通行帯を作り、試験的に実施している。3/21～10/下旬まで実施。様々な意見が出てきているので、それをフィードバックしていく。

③東京低地河川活用推進協議会について

いざという時（災害時）のためには普段から使い慣れていることが大切。このような観点から舟着場の普段からの使用をどのように行っていくか。自己責任で使っていくことを前提にルール作りをしていく取組である。

④荒川下流防災施設運用協議会について

国、都、市区、警察、消防、自衛隊、を交じえて、災害時に輻輳しないように、どのような動きをとるべきか協議している。

⑤まちづくり検討会について

スーパー堤防の見直しの結果について報告されている。

⑥明治 43 年大洪水から 100 年キャンペーンについて

一昨年、昨年と 2 年間の取り組み。とりまとめた物が「荒川変遷史」であり、キャンペーン内容も含めてホームページで公表している。

⑦その他

江戸川区から国体ボート競技の情報提供。

委 員：④協議会には、県も入ってるのか？

荒下事務局：埼玉県も川口市も入っている。

4. 討議事項

川口市より地区別計画について訂正事項説明

- ・まえがき：事務所長の名前（新任）を訂正。
- ・目次：2.5.1 ミスプリント。2.5.3：1126P ではなく、26P
- ・5P：青字部分修正、写真差し替え
- ・6P：写真を 2 つに
- ・9P：2011 年 12 月に
- ・12P：(1)を荒川町ブロックに。写真差し替え。段落のずれは修正。
- ・13P：青字部分訂正
- ・16P：整備内容の写真を、荒川運動公園以外差し替え。
- ・17P：青字部分訂正、写真差し替え。
- ・18P：川口パブリックゴルフ場の自然度同上について追加。

荒下事務局：資料 6（川口パブリックゴルフ場の自然度同上について）の説明

これまでの成果の具体的内容について追加。今回承認いただければ、この内容を地区別計画に反映したい。

委 員：水質調査や農薬の使用については、国や県が主導しなければならないと思うので、計画には載せなくていいのでは。

荒下事務局：荒川将来像計画に該当する項目。これを満たしているということで、この文言を書き出した。

委 員：河川敷のゴルフ場でこういうことをしているということが一般の人は分かっていないかもしれないから、載せてもいいのかなという気がする。

委 員：このゴルフ場だけがやっていることなら特筆すべきかもしれないが、一般的に河川敷のゴルフ場がやっていることであれば、特に載せなくてもいいのでは。

委 員 : 「河川敷におけるすべてのゴルフ場と同様に」という文言を載せればよいのでは。水質検査をやっているのなら、その成果を書いた方がよい。

委 員 : 成果ではなく取組、努力しているということ載せればよいのでは。

荒下事務局 : 行為と成果は違うということは分かるが、こういう湿地を作ったことで、どういう生物が来るようになったかということは多分ゴルフ場では分かっていないと思うので、「多様な生物が来るような場所を確保した」として、成果として見てほしい。

また、ここには記載していないが、もう 1 ヶ所、クラブハウスの近くにもこれと同じもの（湿地）を作る考えがある。なので、ひとまず、湿地を作ったことを成果としてあげて良いのではと思う。

荒下事務局 : 農薬の話については、確かに他のゴルフ場でも行なわれていることなので、「農薬使用をグリーンとティーグラウンド等に限定」の後に、「また、他のゴルフ場と同様に、ゴルフ場自ら場内の水路や池で定期的な水質検査を行い、農薬の河川への流出を防止しています。」ということ成果としていただければと思う。

委 員 : 「防止に努めています」とした方が、現段階での成果というようになるのでは。

委 員 : ゴルフ場のことに限らず、将来像計画に沿ったことを行っているということ成果という言い方ではなく、別の言い方で載せておいた方がよいのでは。

委 員 : 発展途上の努力を一定の成果として評価してあげてよいのでは。

委 員 : 定期的にとということだが、それを試えば、より短い期間で行っているとかであれば成果としてよいのでは。

荒下事務局 : 「農薬使用をグリーンとティーグラウンド等に限定、」の「等」はグリーンとティーグラウンドだけということなので、「のみ」とする。

- ・ 21P : 青字部分訂正
- ・ 22P : 写真差し替え
- ・ 23～27P : 荒川クリーンエイド、ふれあいまつり、水辺の楽校の説明
- ・ 26P の写真は何をしているか分からないということだったので、説明を入れた。
- ・ 33P : 青字部分訂正

委 員 : 17P の写真だと、どこが川口か分かりづらい。川口の部分も少ない。前の写真の方がよいのでは。前の写真は、工業地帯と市街地がはっきり分かるので。

委 員 : 入カミスのチェックなので、平成 22 年度の説明ということなので、このままでよいと思う。

委 員 : 12P の西中のグラウンド写真が暗い。明るめで、学校で使っている写真があるとよいと思うが。

川口事務局 : 学務課に、先生に撮ってもらうように頼んでいるので、もう少しお待ちを。

委 員 : 16P の写真に、もう少し追加の説明があった方がよいのでは。18P の川口パブリックゴルフ場も同様。また、釣りの写真も、この時は釣り大会の説明を入れた方がよい。いつもここで釣りが出来ると思われると良くない。

委 員 : 「木工沈床付近での釣り大会の様子」として、川口ッ子荒川クラブの活動として括弧書きにしておいてもらえれば。字は小さくてもよいと思うので。

荒下事務局 : 23P の「荒川ふれあい祭りと『ドッキング』」という表現についてはどうか。

川口事務局 : 建設管理課にも表現を確認する。

委 員 : 24P の河原町原っぱでのクリーンエイドについては秋も行っているので、後段とまとめ（②を、4.として）タイトルを修正した方がよい。

川口事務局 : 23P の「クリーンエイド建設管理課主催」は取り、「会場」だけにする。

川口事務局 : そもそも、2.5 のタイトルを「川口市の」ではなく、「川口市における」とした方がよい。市役所がやっているという誤解が生じる。

委 員 : 13P の三領水門の三角自然地の場所を示した方がよい。また、「水門」を「グラウンド東側の」としておくなど位置が分かるように記した方がよい。

荒下事務局 : 区読点や、段落、文字、表現の校正は、別途分科会等にて確認をお願いしたい。

次回の運営会議は、平成24 年6 月14 日(水)を予定。